

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	企画展開催事業			会計	款	項	目	大	小	
政 策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館					
施 策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	博物館の来館者	意図	多くの市民に流山の歴史や文化財について知っていただけるようにする。
事業内容	企画展関連の調査・研究、資料収集、報告書刊行、企画展の開催、講演会の開催。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和53年6月開館以来、企画展示を年2回開催してきた。生涯学習の成熟、学校教育における総合的な学習の時間の新設などに対応した。平成13年以降第2展示室は、企画展示を行うとともに、市民ギャラリーとして貸し出している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	企画展開催数	2	2	2		→→
②	企画展観覧者数	11415	10274	10708		→→	
③	関連講座・講演会開催数	6	2	5		→→	
④	関連講座・講演会受講者	219	47	198		→→	
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

- ・企画展開催数は2回である。
- ・「ちょっと昔の暮らし」、「千葉県北西部地区文化財巡回展」を開催した。関連講座の受講者数も増加している。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	12,425,624	10,435,310	10,248,948
事業費(b)(円)	4,947,184	3,212,230	3,536,748
うち一般財源	4,947,184	3,212,230	3,536,748
職員給与費(c)(円)	7,478,440	7,223,080	6,712,200
人役・職員(人)	0.90	1.00	0.90
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.64	0.32	0.60
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	開館40周年を控えた企画展の内容の検討。	③取組の課題	企画展内容の充実と協働事業への取り組み
②今年度(H29)に実施した取組	3回の企画展を開催し、関連講座も積極的に行った。	④今後(H30以降)の改善計画	長期的な企画展の計画策定。